

報道機関 各位

2026年3月18日

北見工業大学

UntroD Capital Japan 株式会社

北見工業大学の研究課題が 「2025年度 HSFC GAP ファンド（ステップ2）」に採択 — 植物が作り出す二次代謝物の量をコントロールする方法 —

このたび、北見工業大学（北海道北見市）の研究課題が、JST 大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」に基づき公募された「HSFC GAP ファンド（ステップ2）ユニコーン志向型」の2025年度最終審査において採択されました。

本事業は、大学の研究成果を社会実装につなげることを目的として、研究シーズの事業化に向けた技術実証や市場検証を支援するものです。

今回採択された研究では、植物が生産する有用な化学物質の生成量を人工的に制御する新しい技術の開発を進めます。植物由来の二次代謝物は、医薬品、香料、食品、化粧品、工業材料などに利用される重要な物質ですが、気候変動や人手不足などの影響により供給が不安定になることが課題となっています。

本研究では、遺伝子操作を用いることなく、植物の根や葉に特定の薬剤を処理することで、精油などの有用成分の生成量を増加させる技術の実証を行います。収穫前に一度処理するだけで植物に含まれる成分量が増加する可能性があり、安全性や汎用性の高い農業・バイオ技術として期待されています。

研究代表者の陽川憲准教授（北見工業大学工学部 応用化学系）は、オホーツク地域におけるハッカ栽培の歴史や環境条件から着想を得て、本技術の開発を進めてきました。本技術は、生薬、スパイス、香料植物など幅広い植物に応用できる可能性があり、天然香料や植物由来化学物質の生産効率向上につながることを期待されています。

本事業の支援のもと、精油成分増加の生物学的メカニズムの解明や栽培条件の最適化、圃場での実証試験を進めるとともに、事業化推進機関である UntroD Capital Japan 株式会社との協働により植物の有用成分を増加させる本技術の社会実装を目指し、大学発スタートアップの創出も視野に研究開発を推進します。

【本件に関するお問い合わせ先】

(研究代表者)

北見工業大学 工学部 陽川 憲

TEL:0157-26-9434 E-mail: yokawaken@mail.kitami-it.ac.jp

(事業化推進機関)

UntroD Capital Japan 株式会社 PR 担当：成田

<https://untrod.inc/contact>